

本校の沿革

社会福祉法人 新生会のはじまり

初代理事長 今村 熱は、1909 年愛媛県今治市に生まれ、現名古屋大学医学部卒業後、病院に勤務する。1944 年空襲を避けるため、患者とともに現池田町に疎開し、そこで終戦を迎えた。終戦後も名古屋には戻らず1946 年この地に「新生病院」を開設し、地域医療に一生を捧げる決意をした。しかし、医療だけでは老人を支えられない現実に直面、私財を投入し、理想的な老人ホーム創りに奔走する。

当時としては、画期的な場所であった町の中心に特別養護老人ホーム「サンビレッジ新生苑」を開設。地域の中にあって、家族がいつでも立ち寄れる温かなホームをめざした。

学校設立の経緯

2代目理事長 石原 美智子はオーストラリアの先進的な介護を学び、その質の高いサービスを取り入れるとともに、1980 年前後には地域の在宅老人のための入浴サービスやデイサービスなどを提供した。池田町は全国から注目を集め老人福祉先進地となった。さらに、在宅を担う「(株) 新生メディカル」を発展させ、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていくためのネットワークを創り出した。そこに、1996年に在宅支援を担う力を持った専門職の育成を目指すサンビレッジ福祉専門学校を設立した。現在も、社会福祉法人立を維持し、現場と連携した教育の推進を目指している。

1996 年 サンビレッジ福祉専門学校 介護福祉学科（2年制）開校

1997 年 学生のオーストラリア研修開始

1998 年 サンビレッジ国際医療福祉専門学校に校名変更

作業療法学科（4年制）開設

2001 年 坂内村での山村生活体験実習開始

2002 年 言語聴覚学科(3年制)開設

2010 年 作業療法学科を 3 年制に改編

2014 年 付帯事業として通信課程 介護福祉士 実務者研修開始